

# おち あい しん ご 落合慎悟県議

## 静岡県議会報告 2010年8月15日号

静岡県政に対するご意見  
ご要望をお寄せください。

厚生委員会 県内視察 7/29~30 富士宮市・静岡市・吉田町・浜松市



**特別養護老人ホーム外神陽光園** 地域密着型29名の小規模ユニット型(新型特養)で一人ひとりが10畳程度の居室と共同の居間、食堂がある。玄関に入ると昭和30年代の街並みが再現されてレトロ空間を創出している。浴室は車いすのまま入浴できる抱き抱えなくて済む新型の浴槽を配置している。

**テルモ愛鷹工場** 電子体温計・カテーテルシステム等医療機器を製造している大正10年設立の国内でも代表的な企業である。この工場で製造の血管拡張用カテーテルの現物を見せてもらった。狭心症や心筋梗塞の治療で狭くなった血管に風船式カテーテルを挿入し拡張して血流を回復させる装置である。

**県立こころの医療センター** 総合的・専門的な精神医療の中核病院として精神科救急・急性期医療や在宅医療支援に取り組んでいる。新病棟の病室は出来るだけ自宅のような雰囲気を持たせるようにベッドのほか家具や2畳の畳床も備えてある。医師たちは時には患者に殴られたりもするが懸命に治療している。

**静岡日本ハム静岡工場** 日本ハムの子会社として昭和60年設立。日本一売れているウインナー「シャウエッセン」を製造している。HACCP(総合衛生製造管理過程)に基づく取組みやISO14001の認証取得で環境にも配慮している。出来たてのシャウエッセンを試食した。羊の腸を使った皮の美味しい音「ポキッ」

**聖隷三方原病院** 救命救急センター(ドクターヘリ) 20年3月に新病棟が完成。出動要請を受け、屋上の常駐ヘリポートから直接現場に直行する。救急現場の医療行為開始の時間が短縮され、救急初療室と併せて重症救急例に高いレベルの医療を提供している。年間の出動回数は700回に及ぶ。

**社会福祉法人子羊学園三方原スクエア** 20年10月移転改築した知的障害児支援施設。入所定員児童20人、成人30人、生活介護事業40人、短期10人。基本的な考え方①落ち着いた生活できる少人数での生活空間。②活動のために通っていただける場所。③地域の人達との交流ができる機会。

## 8/1 口蹄疫で元気をなくした軽トラ市で有名な宮崎県川南町

川南町の高台には牛舎が彼方此方に存在する畜産の町である。規制は解除され、タイヤ消毒場も高速入口だけとなった。休業店も2カ月ぶりに再開したが町はひっそり。

**牛のいなくなった牛舎** スレート屋根まで消毒石灰

**軽トラ市で有名なトロン** ン商店街も閑散としていた

**友よ負けるな!頑張りう川南!** 横断幕が掛る川南町役場

## 7/31佐賀県立宇宙科学館 8/1長崎県雲仙岳記念館

長崎県南島原市で開催の全国小学生男子ソフトボール大会に築地スポーツ少年団が出場し応援兼ねて九州各地を視察しました。

**子供たちの科学する** 心を育てる宇宙科学館

**全国初の火山体験学習** 施設がまたすドーム

**南島原で開催された全国** 大会ベスト8ならず

## 参加者募集 藤枝市まちづくり勉強会

日本一元気な商店街  
佐世保商店街のまちづくり  
『賑わいは賑わいを呼ぶ  
楽しいことに人は集まる。』

講師 佐世保市商店街連合会会長 竹本慶三氏  
日程 9月4日(土) 14時~16時  
会場 藤枝市文化センター  
会費 100円(資料代)



年々人出が少なくなっていく商店街の状況に危機感を持ち、人が集まるイベント「きらきらフェスティバル」や「YOSAKOI saseho祭り」を企画発案。また、工夫を凝らした資金集めで、補助金などに頼らない「市民参加型のイベント」の継続的に成功。「日本一元気な商店街」と評され、全国からも注目を浴びる佐世保市街地の中心商店街。「人生観を変えるほどエネルギーに溢れた人」と言わしめる。

同じ日の9月4日(土)18時~20時30分 藤枝市文化センター1階で「落合しんごを囲む会」も開催します。(申込は事務所まで)

**勉強会参加者募集 落合政経塾**  
毎月第一水曜日午後7時から政治経済の勉強会を開催します。昨年まで参議院事務局首席調査官の高塚氏が最初に講演をします。女性の参加者が増えました。お互いの意見交換も楽しみです。年齢問いません。ぜひご参加ください。

**落合慎悟事務所**  
〒426-0031 藤枝市築地838  
TEL 054-645-8100  
FAX 054-645-8111  
メール s.o@thn.ne.jp  
http://www.ochiai-shingo.jp

# 静岡県議会議員 自民改革会議 いっしょにか 五輪会

# おち あい しん ご 落合慎悟

7月27日県議定数74人から5人削減決定。(藤枝市1減の2人、焼津市1増の3人) 県内各市議会議員が2割程度削減されている事を踏まえ、昨年から議員定数協議をしてきました。我が会派自民改革会議は焼津市が定数2人となる7人削減を主張しましたが叶いませんでした。

6月議会が閉会し、9月15日開会の9月議会まで調査研究や研修期間です。今回は県政では変えられない法的な事、国の問題などを意見書にするために各省庁に出向き調査をする予定です。内容として高速道路行政方針が未決定で準備完了の東名焼津吉田間新ICなど申請待ち問題、幼保一体化問題、療養病床廃止による介護医療問題、FTA自由貿易協定の動きに対する農業問題、法人税や規制緩和の遅れから中小企業まで海外に生産拠点を移転している企業経営実態など県民生活に密着した問題が山積しています。私の友人官僚の世話で各調査をしてきます。今年度、議会運営委員となり、各会派から提出される意見書を検討する小委員会にも配属され会派代表として勉強になり有難いのですが、意見書資料が多く、勉強時間が少なく大変です。また広報委員としても9月に県議会だよりの発行があります。議会質問で発言者が分かる質問内容に変更を協議したが今年度は時間不足でダメでした。ページ数も削減される少ない予算の中で県民に分かりやすい議会だよりが発行できるよう改革していきます。これからも諸問題に取り組んでまいります。御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 6月議会定例会 知事より近況報告

**危機管理** 静岡県は国内随一の防災力を有し、海外から注目されている。5月に知事が浙江省との防災会議開催や中国東方航空との救援物資輸送協定の締結、6月6日からの中国調査チームの派遣を通じ中国の防災力に必ず役立つと確信している。今後も防災力の強化と防災時用法の発信に努める。

**総合防災訓練** 9月1日に東海地震を想定し、伊東市で連携をキーワードに実施する。観光客の海上輸送訓練やヘリポートを活用した物資搬送訓練などを行なう。また10月に、政府主催の「原子力総合防災訓練」が本県で実施される。

**消防救急の広域化** 19年度に策定した広域化推進計画に基づき、2年間協議をした結果、東中西の3圏域を改め8消防本部6通信指令センター体制とすることで決定した。

**建築物の耐震化** 21年度末までに累計10,922戸となり、27年度までに2万戸に向け推進する。

**口蹄疫** 宮崎県で発生と同時に、県内農場に対し、口蹄疫に関する情報提供を行ない、防疫対策の徹底と早期発見・早期通報を指導するとともに、全農場671戸を対象に、10日間程度の間隔による聞き取り調査を実施、異常の無いことを確認した。6月17日に図上訓練も実施している。

**交通対策** 交通事故の状況は、5月末現在で死者は昨年を下回っているが、件数、負傷者は増加している。5月の連休に10人死亡事故があり、街頭やラジオ放送で交通事故防止の呼びかけを実施した。

**本県経済** 6月8日に知事と行政教育関係団体代表が県内主要経済団体を訪問し、採用の拡大を強く要請した。また基金を活用した雇用創出事業について、民間からのアイデア募集により、新たに62件の提案事業を採択するとともに介護や農林水産業の分野を重点に人材育成事業を開始した。

**財政状況** 21年度の県税収入は20年度に比べ大幅な減少となるものの最終予算額4125億円を53億円程度上回る。決算は56億円程度黒字を確保できる。22年度税収は企業収益に一部改善の動きがみられるが、地方法人特別税の影響もあり、個人県民税の減収も見込まれ、厳しい状況にある。

**行財政改革の推進** 昨年度で集中改革プランが終了、6月14日に取組み成果を公表した。今後は、新しい行財政改革大綱の策定に取り組んでいく。また、事業仕分けは、昨年度に引き続き、県民の参加で、9月4日、5日に実施する。

## 議会運営委員会 7/27



議会運営委員会は議長副議長および執行部出席の下、議会の開会日の1週間前に開催し、議会議案の進行などを協議する。議会本会議開催日は昼時間に必ず開催される。意見書、議案質疑や討論などある場合等、議会運営の必要に応じて本会議中に開催される。

議会運営委員会小委員会は各会派代表1人構成のため、会派を代表して会議に臨む。各会派から提出される国への意見書の審議を行なう。意見書について意見事項の理由や法的根拠、歴史等の資料が議会事務局調査課から添付されてくるため勉強して慎重に審議するとともに自会派に説明をし、同意を得て進めていく。

各会派からの意見書は小委員会全員が意見を述べ、修正などを繰り返し小委員会全員の同意を持って議会運営委員会に戻し、議会に提出・採決される。

## 過疎・中山間地域振興特別委員会8/6



8月6日10時30分から第3回過疎・中山間地域振興特別委員会が開催された。特別委員会は常任委員会の審査とは違い、1月に向けて提言書を作成することに主体がある。

**過疎地域自立促進方針案の提出と経営管理部、企画広報部、文化観光部、経済産業部、交通基盤部、教育委員会事務局から各課長が出席し、過疎・中山間地域に関する事業説明があった。**

私は副委員長として委員長を補佐し、各委員の質問に対し執行部から答弁漏れが無いようチェックする立場であるため、質問は遠慮しなければならぬ。尤も聞きたいことは何時でも副委員長権限で詳しく聞く事が出来るし、資料も貰える。

**過疎地域の現状** 8市町で県内人口の1.8%、面積22.7%。過疎対策事業費S45~H11総計5,268億円。

**過疎地域自立促進方針案** 22~27年度、「住んで良かった」「訪れてみたい」と思う地域を目指す。

**情報化の推進** 光ファイバー網整備世帯カバー率25年度目標86%、携帯電話通話地域人口割99.9%

**過疎市町地域の国・県指定無形民俗文化財** 国・西浦の田楽、徳山の盆踊 県・人形三番叟ほか9件

**「ふじのくに芸術回廊」創出事業** 文化を支える機能の強化と文化活動の振興を図る事業を実施。

**「農山村と都市の交流」と「移住・定住促進」** 滞在型グリーンツーリズム促進。市町の受入体制整備。

**中山間地域における生産基盤整備と生活環境整備の促進** 中山間地域等総合振興計画の策定。

**協働による農村環境資源の保全管理(緑と水のふるさとづくり推進事業)** 「一社一村しずおか運動」

**今後の森林・林業施策の方向** 森林を守り育て活かす取組みの中、森林資源の積極的な活用を重点化

**野生鳥獣による農林業被害軽減** 「静岡県による野生鳥獣被害対策の基本的な方針案」の策定。

**県内過疎市町**  
全域過疎  
南伊豆、西伊豆  
松崎、川根本町  
一部過疎  
沼津、伊豆  
島田、浜松  
人口 67,463人  
面積1765.08km<sup>2</sup>